

# ほほえみ

第33号 2015年4月発行



独立行政法人 国立病院機構  
七尾病院

〒926-8531 石川県七尾市松百町八部3番地の1  
TEL (0767) 53-1890 (代)  
FAX (0767) 53-5771  
ホームページ <http://www.nanao-hosp.jp/>



「中島菜と花いる」橋本義則（七尾美術作家協会会員）

## 私達の信条

- 私達は、患者さんにいつも愛と思いやりの心で接します。
- 私達は、国の担うべき医療を提供し、地域に親しまれる病院を目指します。
- 私達は、質の高い医療を提供し続けていくために日々研鑽いたします。
- 私達は、医療の進歩に貢献するために臨床研究を推進します。
- 私達は、互いに協力し、働きがいのある明るい職場作りに努めます。

## 目次

七尾病院の現状について	2
看護課便り	3
かるしお風"七尾漁師めし"への道のり	4
結核臨床研修会報告	5

## 七尾病院の現状について



七尾病院長 藤村 政樹

私が七尾病院に赴任して丸3年が経過しました。この間を一言で申し上げますとあっという間に過ぎましたということですが、その中でも大きく変わった4点についてお知らせします。

1点目は、先にお知らせしましたように昨年11月15日に七尾湾海岸線から新しい道路がようやく完成し、従来の県道1号線からの坂道とつながりました。従来の坂道はつづら折りでまた狭隘な箇所もあり何かとご不便をおかけしましたが、新しい道路により少し解消するとともに災害発生時の緊急避難経路としての役割も十分果たすものと大変喜んでおります。なお、病院外来駐車場との交差点部分は見通しも悪く非常に危険ですので、一旦停止および徐行に留意いただきますようお願いいたします。

2点目ですが、平成22年に完成した病棟等以外の建物は築35年以上を優に超え、各所の老朽化が著しく、前々より建て替えを要望してきたところですが、先月国立病院機構本部の投資委員会において外来診療棟等更新整備計画が認められました。順調でも4年間の大々的な工事となります。その間病院を利用される皆様には、工事などにより何かとご不便をおかけすることになりますが、ご理解とご協力のほどよろしく申し上げます。

次に前院長退官後3年間小児科常勤医師は不在でしたが、本年1月に大分大学小児科前教授泉先生をお招きし、また、この4月には押切小児科医長を採用することができました。これにより重症心身障害児（者）医療の充実化が進みます。また、現在七尾市内で対応に苦慮されている小児発達障害児の診断およびその支援にも手がけていくこととしております。今までとは違う七尾病院にご期待ください。

最後ですが、私が赴任した当時七尾病院は地域の皆様からはまだまだ知られていないと感じました。そこで私どもから病院を知っていただくための行動の一つとして、平成25年度より出前講座を企画しております。25、26年度とも12件ずつ実施しておりますが、今年度も要望がありましたらご連絡下さい。また、病院のホームページをご覧になっている方が案外多いので、これを絶好のチャンスとしてとらえ、ささいなものでも話題性のものはトピックスとして取り上げてアップしておりますので是非ご覧いただければと思います。

以上、現状をお知らせしましたが、地域の多くの皆様に利用していただけるよう日々努力を重ねており、毎年少しずつ良くなっているものと肌で感じております。この流れを決して閉ざすことなくさらに良い医療やサービスを展開して参りますのでよろしくお願い申し上げます。

## 看護課便り 感染管理認定看護師 (CNIC) を めざして!



副看護師長 中川 かつ枝

感染管理とは、入院・外来・在宅ケアの患者さん、ご家族、面会に来られる方、医療従事者、委託業者、実習生および教員など、すべての人々を感染から守る活動を言います。

七尾病院は、神経難病、重症心身障害、結核の診療を中心としており、高齢者や障害者など抵抗力が弱く感染しやすい患者さんが多く入院されています。そのため、病院環境における感染管理はとても重要です。

私は、平成20年度から院内の感染防止対策チームの一員として活動しています。研修や学会に参加するたびに、感染に対する新しい情報やそれに応じた対策が検討されていることを知り、職員全員が、正しく判断し実施できるよう知識をもち、手技を統一することが重要であると感じました。そこで、病気を引き起こす細菌やウイルスについてもっと詳しく勉強したり、感染を予防するにはどのようにしたらよいのかを学びたいと思い、平成26年7月から今年2月まで石川県立看護大学の感染管理認定看護師教育課程を受講してきました。

病原体は目に見えません。院内で問題となる感染症の発生状況を把握し、感染の予防と拡大防止のため、疫学的根拠に基づいた感染対策を実践し、安全で質の高い医療（療養環境を含めた）を提供できるよう全職員とともに取り組んでいきたいと思っています。また、現在は病棟勤務をしておりますが、少しずつ病棟外や院外での活動を増やし、学んできた感染管理についての知識や技術を普及していきたいと思っています。さらに5月に行われる認定看護師認定審査に合格できるよう、受験勉強にも奮闘しています。

### ふれあいイベントのお知らせ

毎年5月12日の看護の日を含む5月10日（日）から16日（土）までを看護週間とし、全国各地で看護にふれていただくイベントが開催されます。七尾病院でも、5月12日（火）どんたく「ベイモール店」前にて、地域のみなさまを対象に健康チェックや健康・栄養相談を行い、みなさまの健康作りをお手伝いさせていただきます。多数の方のご来場をお待ちしております。

# かるしお風“七尾漁師めし”への道のり

## ～国循のご当地かるしおレシピプロジェクト2014に再挑戦して～

栄養管理室長 浅井 慎 悟

平成25年度、栄養管理室は減塩食への取り組みの一つとして、国立循環器病研究センターが主催する全国減塩食レシピコンテスト第1回「S-1g(エスワングランプリ)大会」に応募しました。その時は、最終選考の「候補」作品にまでエントリーされましたが、惜しくも最終選考の舞台に立つことはできませんでした。しかしながらこの挑戦をきっかけとして、栄養管理室では様々な試みを展開しました。まずは、地域住民のみなさまへの調理実習を含む①「(減塩)出前講座」の実施。また当院外来にて、②「七尾病院オリジナル(減塩)献立レシピ集」の無料配布。さらに病棟にて調理師が、入院患者さんの目の前で寿司を握り提供する③「病棟・(減塩)握り寿司の実演」等々に取り組んでまいりました。

そして、ついに時は来ました。平成26年、国循のご当地かるしおレシピプロジェクト2014第2回「S-1g(エスワングランプリ)大会」への再挑戦です。

大会の趣旨『①循環器病予防のための食生活改善に地域ぐるみで取り組む動きを支援する②地産地消・地域振興にも貢献し、各地の特産品を活用した美味しい減塩食を発掘・応援する』に賛同して、この1年間の栄養管理室の活動の集大成も込めて、挑みました。

今回の応募レシピのタイトルは、石川県能登地方の中心都市であるここ七尾と、「天然の生簀」と言われる七尾湾の漁場をも連想させるように『かるしお風“七尾漁師めし”』と名付け、エネルギー531Kal・塩分1.8gの丼に仕上げました。そのセールスポイントとして、食材はユネスコ世界農業遺産にも登録された石川県能登地区のものを豊富に用いました。

- ①澱粉質が多くモチリした味わいを持つ日本一のれんこんブランド\*小坂れんこん
- ②石川県の戦略作物であり、独特のほろ苦さと辛みのある七尾市中島町の\*中島菜
- ③加賀藩への献上野菜でもあった\*沢野ごぼう
- ④地元、七尾湾で水揚げされた絶品\*寒ぶり \*アオリイカ \*甘エビ
- ⑤カリウムを多く含んだ赤土と能登の名水で育った\*能登米
- ⑥イカの内臓を原料とした発酵調味料の\*いしり

そして、上記食材を用いて応募の結果、一次選考を見事に通過して、念願の最終選考の舞台に立つことができました！

大会当日の七尾病院のプレゼンテーションは、“七尾漁師めし”のタイトルイメージ通り、「漁師スタイル」に「大漁旗」と北陸地区の婚礼道具としても用いる「花嫁のれん」を持参し、当院及び能登七尾を存分にアピールすることに努めました。

残念ながら今回は最優秀等々の賞を得るまでには至りませんでした。しかし貴重な経験と共に、次年度に向けての創作意欲や日常業務の向上に繋がるモチベーションを得る事ができました。今後の七尾病院 栄養管理室の活躍にご期待下さい。



# 結核臨床研修会報告

地域連携室長 横地 英博

2月22日（日）に、穴水町の『のとふれあい文化センター』において当院主催の結核臨床研修会を開きました。結核臨床研修会は結核医療における地域の医療機関相互の連携強化を図り、結核医療の向上に努めることを目的としており、平成13年度から年1回石川県の各地で開催しています。今回は能登北部地区の医療従事者と介護福祉関係者の方々を対象とし、能登北部医師会、石川県薬剤師会、石川県臨床衛生検査技師会の共催、石川県看護協会の後援をいただきました。当日は晴のち雨の天気の中、57名の方の参加がありました。

演題は5題あり、第1演題は能登北部保健福祉センター所長小林勝義先生から「能登北部保健所管内の結核患者の発生状況について」と題して講演がありました。平成25年結核登録状況では能登北部の罹患率は人口10万対19.9人とここ5年間ほぼ横ばいであること、発病から初診までの期間が長い傾向があること、病院に受診していない患者が多数いる可能性があることを述べられました。第2演題は当院の堂下隆内科医長から「結核診断のポイントについて」と題して結核菌、結核感染と発病、結核菌関連検査の基礎的知識から実際の症例にもとづく結核診断のこつの説明がありました。第3演題では土島秀次外科医長から「結核症例の実際について」という題で5症例の提示がありました。第4演題「良質な喀痰の採取法とその評価について」では多和田行男臨床検査技師長が上手な痰の採取方法と喀痰の品質評価の重要性について解説しました。第5演題「結核発症時の施設内対応と看護について」では一花知子結核看護院内認定看護師から結核の感染経路、結核発症時の施設内対応、感染防止対策、結核看護、抗結核薬、DOTSカンファレンスと退院後の対応、精神的援助にいたる流れの具体的説明がありました。最後に参加者全員にN95マスクを配り、正しい装着法とフィットテストを体験してもらいました。

研修会終了後のアンケートを一部ご紹介いたします。「多職種の目線からの演題が勉強になった」、「具体性が高く症例が多かった」などです。ご意見を参考に今後も結核拠点病院として情報を発信していきたいと思えます。



# 看護師募集!

入院から在宅までの  
看護を一緒に行いましょう!

\*しばらく医療の現場から  
離れていた方への職場復  
帰を支援するための研修  
を行っています。ご利用  
下さい!

問い合わせ先

独立行政法人国立病院機構七尾病院 看護課  
(0767) 53-1890 (内線1104)



## 外来診療担当医表

外来受付時間 8:30~16:00

診療時間 8:30~17:00

	月	火	水	木	金
内科	横地	橋井	陳	藤村 森永	堂下
外科				土島	
呼吸器科	藤村 (PM)	藤村 (PM)	大谷 (PM)	藤村 (AM)	堂下
ペインクリニック			松島 (AM)		
神経内科	横地	横地	横地	森永	森永
小児科	押切/泉 交代医	押切 泉	押切/泉 岡田1回/月	押切 泉	押切/泉 松島
消化器科	陳	陳	陳	陳	陳
皮膚科	和泉 (AM)	藤村 <sup>啓</sup>	藤村 <sup>啓</sup> (AM)	休診	竹田 (AM)
循環器科					上野 (AM)

※小児期の予防接種はじめ各種予防接種を行なっております。

## 病院概要

■医療法病床 240床

(一般病床/190床、結核病床50床)

■標榜診療科

内科、呼吸器内科、消化器内科、神経内科、  
ペインクリニック内科、外科、小児科、皮膚科、  
リハビリテーション科



## 案内図



JR七尾線「七尾駅」下車  
→北鉄バス【和倉温泉行】にて  
(3.7km./約15分)七尾病院前下車  
→徒歩5分(500m.)

※平日の午前中は坂下まで  
病院バスの送迎あり



## 編集後記

ほほえみは当院ホームページでもご覧いただくことができ、ホームページには研修会等の報告やお役立ち情報も掲載しています。一度アクセスしてみてください。

また、ほほえみでは読者のみなさまからのご意見・ご感想をお待ちしております。下記メールアドレスまで、よろしくお願い致します。 msw2@nanaolan.hosp.go.jp

医療社会事業専門員 上田 竜也